

附中通信

～気づきが拓く学校づくり～

三重大大学教育学部
附属中学校

№1

平成 29 年 4 月 11 日

平成 29 年度始動 明日に向かって確かな一歩を！

校長先生の始業式のお話より

2 年生、3 年生の皆さん、進級おめでとうございます。

3 年生の皆さんは、本校の最上級生として、2 年生や 1 年生の手本となり、学校行事や部活動、生徒会活動などのいろいろな場面で下級生を指導してほしいと思います。また、自分の進路を決める大事な学年でもあります。家族、先生、友達とよく相談しながら、自分の目標に向かって精いっぱい努力をしてください。

2 年生の皆さんは、昨年度を振り返って、新たな目標を立てていることと思います。今年度は、その目標達成に向かっていろいろなことに挑戦し、自分を磨き、充実させるときです。3 年生を助けるとともに、1 年生を指導しながら、附属中の中心となって活躍してほしいと思います。

月曜には 144 名の新入生が入学してきます。皆さんも経験したように、新入生は大きな期待とともに不安を抱きながら学校生活をスタートすることでしょう。皆さんの接し方次第で、期待をさらに大きく不安をより小さくすることができます。どうか、新入生に対して、優しく親切に接していただくようお願いします。

さて、今日は、政治学者であるカン・サン・ジュンさんの著書に書かれている「生きる力」についてほんの少しお話ししたいと思います。「人は 1 人では生きられない」ということばを聞いたことがあるでしょうか。これはどんな意味でしょう。皆さんがいま頭の中に浮かべたように、いくつかの意味がありますが、カンさんは、人の心の問題として「人は孤独の中では生きてゆけない」ということを意味するのだと述べています。そして、家族のきずなや人と人の支え合いを通して、他の人が自分を、自分が他の人を互いに認め合う「相互承認」によってのみ、この孤独から抜け出すことができるのです。人と人がつながることによって初めて自分の心の中に安らぎが生まれ、将来への希望、すなわち、生きる力を得ることができるのだと思います。

もう一つ、私の好きな辻仁成さん(つじ ひとなり)の歌の一節を紹介しましょう。「みんなちょっと少しづつばらばら だからぼくは生きていられる 千の思想で回ってる地球 自分が変われば出会う人も変わる」。皆さんが、出会う人の考え方を理解するように努め、互いを尊重しながらつながりあい、充実した学校生活を送れることを願って始業式のあいさつとします。

【学級担任】

年 組	男子	女子	計	担 任	副担任 (太字学年代表)
1 年 A 組	1 8	1 8	3 6	上野 雄司 (国語)	吉岡 良江 (家庭)
1 年 B 組	1 8	1 8	3 6	青木 健太 (理科)	吉岡 良江 (家庭)
1 年 C 組	1 8	1 8	3 6	石井 里枝 (英語)	工藤 大知 (数学)
1 年 D 組	1 8	1 8	3 6	永尾 和史 (保体)	大木 信幸 (社会)
2 年 A 組	1 7	1 9	3 6	林 大輔 (数学)	平松 幸三 (保体)
2 年 B 組	1 7	1 8	3 5	松村 謙一 (社会)	黒田 浩代 (英語)
2 年 C 組	1 8	1 8	3 6	谷 和音 (英語)	伊藤 良太 (理科)
2 年 D 組	1 8	1 8	3 6	古谷 恵子 (国語)	近藤 真純 (美術)
3 年 A 組	1 8	1 8	3 5	加藤 創太 (理科)	大木 栄 (社会)
3 年 B 組	1 7	1 9	3 6	中垣 尚子 (英語)	大村 政茂 (国語)
3 年 C 組	1 7	1 9	3 6	稲垣 友裕 (保体)	田中 克昌 (技術)
3 年 D 組	1 7	1 9	3 6	松尾 信子 (音楽)	加納 博之 (数学)
校 長	牧原 義一	養 護	竹田 結貴	事務補助	田村恵美子
副校長	東 俊之	非常勤	三山 善久	用 務	常喜 崇徳
教 頭	井上 久	非常勤	鹿島由美子	調理員	石賀くるみ
主 幹	河合 龍哉	A L T	アンドリュー ローサ		川邊 恵
指導教諭	吉岡 良江	スクールカウンセラー			田中 典子
			山北 深香		青木 千晶

【部活動顧問】

部 活 動	顧 問	
サッカー	松村 謙一	大木 栄
野 球	青木 健太	工藤 大知
陸 上	上野 雄司	永尾 和史
男子バスケット	林 大輔	古谷 恵子
女子バスケット	稲垣 友裕	加藤 創太
バレーボール	谷 和音	加納 博之
男子卓球	石井 里枝	河合 龍哉
女子卓球	伊藤 良太	
男子ソフトテニス	大木 信幸	吉岡 良江
女子ソフトテニス	平松 幸三	大村 政茂
製 作	田中 克昌	黒田 浩代
美 術	近藤 真純	中垣 尚子
音 楽	松尾 信子	

校長先生の入学式のお話より

新入生の皆さんを心より歓迎いたします。

皆さんは、今日から始まる附属中での学校生活に、大きな期待とともに不安も抱いていることでしょう。しかし、心配はいりません。まわりを見てください。先生、上級生、そしてご家族が、皆さんを優しく見守り、困ったときにはいつでも手を差し伸べてくれます。また、皆さんのすぐ隣には、自分と同じような気持ちでいる同級生がいます。お互いに、少しずつ話をしながら、気の合う友達をぜひ作ってください。

ところで、中学生になると、小学校の時に比べて、自分の頭で考え、判断し、実行してゆくことが増えると思います。周りの人の言うとおりにするのではなく、自分の頭で考えて実行することはとても難しいことですが、とても大切なことでもあります。もう一つ大事なことは、まわりの人の見方や考え方を知り、その考え方を理解するように努めることです。失敗やまちがいをすることもあります。全く心配はいりません。私や先生方も、失敗やまちがいを繰り返しながら、自分の頭で考えること、互いを尊重しあうことを目標にして毎日努力しているのです。さて、今日は物理学の「フラクタル」という分野のお話を少ししましょう。

フラクタルとは、ある図形の一部を拡大すると、その図形全体と同じ形になるような図形のことです。そして、そのような図形の規則性や複雑さを研究する分野です。例えば、樹木の枝分かれした形、コンクリートのひび割れの形、そして宇宙の星の分布などもフラクタルです。

フラクタルの研究によって、自然現象に対する私たちの見方がずいぶんと変わってきました。例えば、「高度な秩序状態は乱れに弱い」、ということが分かりました。非常に規則的な状態は外部からのわずかな乱れに対して不安定で、何かのきっかけで突如として秩序が大きく乱れ、ついには壊れてしまうこともあるのです。言い換えると、完全に規則的な状態は柔軟性に欠けていると言えるでしょう。例えば、同じ形の石を規則正しく積んだ現代的な石垣や堤防は意外に崩れやすく、一方、大小さまざまな形の石を乱雑に積んだように見える日本のお城の石垣や昔の堤防は割と丈夫なのです。

私が皆さんに伝えたいのは、フラクタルの研究で分かった自然界のルールが、私たちの心の問題や日々の生活の問題にも当てはまるのではないかとということです。

これから3年間の学校生活の中で、多くのことに関心を持ち、勉強、部活、生徒会活動、読書、遊びなどいろいろなことに挑戦しましょう。そして、まわりの変化に対して柔軟に対応できるように、自分の心にゆとりを持てるように、自分を磨いていってほしいと思います。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学まことにおめでとうございます。教職員一同、子供たちが充実した学校生活を送れるように、全力で指導にあたっております。保護者の皆様も本校の教育・研究活動にご理解をいただき、ご家庭、学校行事、あるいは育友会活動などを通してご支援を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。